



代表理事組合長  
谷口 熊一

年頭のごあいさつ

## 自己改革の実践に向けて

新年あけましておめでとうございます。

平成29年の輝かしい新春を迎え、謹んでみなさまのご繁栄とご多幸・ご健康をお祈り申し上げます。

常日頃は、JA越後おぢやの事業運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、今年はお合併14年目となります。農業・農協を取り巻く環境変化がめまぐるしいなか、ここまで来られたことに、組合員をはじめ地域のみなさまに感謝申し上げます。

農業面では、平成28年産米は全国の作況指数103、新潟県108のなか、小千谷市を含む魚沼は「109良」と全国最高の豊作という結果となりました。集荷数量も契約数量を大きく上回り、「やや不良」だった昨年を約1万3千俵上回る出荷をいただきました。一等米比率は85・7%（全品種）と昨年を上回りましたが、目標には届きませんでした。しかしながら、みなさまからご理解いただき県認証5割減減米を中心に品質向上に取り組んできた結果は確実に出てきております。昨年試作をいただきました新品種「新之助」は収量・品質とも良好（全量一等米であり、手ごたえを感じています。販売面では、全国的なコメ需給緩和の状況は変わらないなか、27年産米は品薄感から順調に推移しました。28年産米は豊作感から動きは鈍化していますが、大手コンビニエンスストアとの取引は昨年と同様な取引が見込まれています。園芸についても、生産拡大にご協力をいただくなか、スイカ、メロン、カリフラワー、ニンジンなど重点作物を中心に、計画並びに前年を上回る成果を上げることができました。ありがとうございます。

また、昨年は4月1日に改正農協法等が施行され、それに対応すべくJA自己改革を進めるなか、規制改革推進会議・農業ワーキンググループからJA組織の根幹にかかわる提言が発表されました。JAを含む協同組合は、協同組合原則とそれぞれの根拠法にもとづき、利用者である組合員が出資し運営参加して事業を実施することを通じて、自らを含む国民生活や地域経済の安定発展に寄与する民間組織です。規制改革の名の下に協同組合の自主性・主体性が制限されるようなことがあってはならないと思います。TPP並びに関連法案も成立しましたが、これによりTPP合意内容が他の通商交渉の一つの基準となり、それを超える水準の自由化を懸念しています。

JAの基本的な姿は、「食と農を基軸として地域に根差した農業協同組合」として、その行う総合事業により農業並び地域振興に一体的に取り組むというものであり、当JAにおいてもJA自己改革の基本目標として掲げた「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実践に取り組んでまいります。

基幹作物である米は、消費減少等による需給緩和が続くなか、「JAグループ新潟・新潟米基本戦略」にJA販売戦略を加味し、消費者・実需者が

ら求められる高品質で安全・安心な「おちや米」の生産を進めます。そのため、主食用米では県認証5割減栽培米への取り組みを更に進めるとともに、マーケティングによる販売力を強化するためコシヒカリを主力に早生・晩生種生産拡大による作期調整並びに酒造好適米、「新之助」の生産拡大を進めます。平成30年産米以降の対応が不透明なところもありますが、需要に応じた米づくりにより一層取り組みとともに、水田フル活用の観点から、生産者のみなさまからご理解・ご協力をいただき、加工用米・輸出用米など水田活用米穀の生産拡大を進めます。また肥料・農薬など生産資材価格の引き下げと併せ園芸振興に積極的に取り組み、農業所得の向上に取り組んでまいります。

地域農業の構造変化や高齢化等による農業者の減少と多様化、農村社会の混住化が急激に進むなかで、JAだけでは目指す「持続可能な農業」「豊かで暮らしやすい地域社会」を実現することはできません。組合員をはじめ地域のみなさまからも、ぜひJAの事業や活動に参加をいただき「農業と地域経済を共に支えるパートナー」として応援をお願いいたします。

JA新潟厚生連小千谷総合病院は、本年4月1日の開院に向けて、着々と準備が進められています。新病院の開院により小千谷・魚沼地域の医療提供体制の充実がはかれるとともに、地域の中核病院として、医療・保険・福祉の一体的なサービス提供が可能となります。地元JAとして、引き続き運営に協力してまいります。

本年も「組合員の負託に応え、地域社会に貢献する。」を経営理念に「みなさまに信頼されるJA」「地域に貢献するJA」を目指し自己改革を進め、組合員・地域のみなさまとともにこれからも歩んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年の干支は「丁酉（ひのと・とり）」です。酉のつく年は「商売繁盛につながる」と言われています。酉（とり）は「取り込む」につながるというわけから、運氣やお客様も取り込めるということだそうです。地方経済の低迷感が去り（サル）、商売繁盛・景気高揚の年となることを期待しています。みなさまが元気で明るく過ごせ平和でより良い年であることと、みなさまのご繁栄・ご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

あけましておめでとございます  
 本年もJA越後おちやをよろしく願いいたします

- |         |       |    |       |    |       |    |       |        |       |
|---------|-------|----|-------|----|-------|----|-------|--------|-------|
| 代表理事組合長 | 谷口 熊一 | 理事 | 高橋 晴美 | 理事 | 金崎恵美子 | 理事 | 坂詰 晋作 | 代表監事   | 大矢 保  |
| 常務理事    | 小宮 博行 | 理事 | 丸山 啓治 | 理事 | 佐藤 勝良 | 理事 | 横田 雅夫 | 監事     | 川上 忠義 |
| 常務理事    | 藤島 睦  | 理事 | 樋口 秀夫 | 理事 | 堀井 修  | 理事 | 大平 由廣 | 員外監事   | 吉澤 榮一 |
| 理事      | 和田 稔  | 理事 | 安達 高  | 理事 | 堀澤 富一 | 理事 | 細金 靖  | 外 職員一同 |       |
| 理事      | 谷風 政春 | 理事 | 阿部 廣  | 理事 | 今井 信一 |    |       |        |       |